

加西市議会だより

council reports No.116

第220回定例会(平成20年6月議会)を開催

第220回加西市議会定例会を6月2日(月)から20日(金)の日程で開催し、本会議、委員会において慎重に審議を行いました。森田博美議長、森元清蔵副議長をはじめ、平成20年度の加西市議会の新体制(2P参照)も決定し、人事案件2件を同意、報告4件を承認、議案3件を可決、請願1件を採択、意見書案1件を可決しました。

また、市政に対してあらゆる角度から一般質問を行い、市民の暮らしを見つめた議論が展開されました。(3~7P参照)

CONTENTS

2 平成20年度市議会審議体制

3~7 主な一般質問

7 議決結果等一覧

8 故郷への想い、次回定例会日程等



全国初!BDF100%使用「北条鉄道レールバス試験走行」

加西市バイオマスタウン構想で公表し、CO2削減に向けた取り組みの一つであるBDF事業の啓発のため、全国初の取り組みであるBDFを100%使用した北条鉄道レールバスの試験走行が北条町駅と粟生駅間(13.6km)を往復して行われました。列車は午前0時に通常使用する軽油、午前1時20分にBDFを燃料に走行開始。加速性能や燃費に大きな差はなく、排ガスは軽油よりもBDFの方がクリーンでした。

平成20年度 新体制決まる



議長 森田博美



副議長 森元清蔵

平成20年度加西市議会 議会運営・常任・特別委員

(五十音順)

委員会名	定数	委員長	副委員長	委員
議会運営	7	桜井光男	井上智章	繁田 基 高見 忍 三宅利弘 山下光昭 吉田 稔
常任	総務	井上芳弘	後藤千明	小谷安富 高見 忍 別府 直 三宅利弘
	厚生	吉田 稔	黒田秀一	井上智章 桜井光男 繁田 基 山下光昭
	建設経済	土本昌幸	丸岡弘満	高橋佐代子 西川正一 森田博美 森元清蔵
特別	少子高齢化対策	山下光昭	別府 直	黒田秀一 小谷安富 高見 忍 土本昌幸 丸岡弘満 吉田 稔
	行財政改革	繁田 基	高橋佐代子	井上智章 井上芳弘 後藤千明 桜井光男 西川正一 三宅利弘

市の仕事は非常に幅広く複雑です。そこで、本会議での審議を効率的に行うため、本会議で選任された議員で構成する委員会を設け、それぞれの委員会に所属する議員が専門的に審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。

各種選出委員

(五十音順)

名称	定数	委員
土地開発公社監事	1	井上芳弘
有線放送電話運営審議会委員	3	高橋佐代子 丸岡弘満 森元清蔵
国民健康保険運営協議会委員	1	山下光昭
民生委員推薦会委員	2	三宅利弘 森田博美
都市計画審議会委員	3	土本昌幸 別府 直 吉田 稔
農業委員会委員	1	繁田 基
青少年問題協議会委員	2	黒田秀一 後藤千明
加古川上流区域流域下水道事業促進協議会理事	1	西川正一
播磨内陸医務事業組合議会議員	2	小谷安富 高見 忍
北播肢体不自由児機能回復訓練施設事務組合議会議員	2	井上智章 桜井光男

一般質問

6月9・10・11日の本会議では、延べ17人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。(発言順に掲載)

メタボリックシンドローム 健診について

高橋佐代子 議員

Q 4月から新しい健診と保健指導がスタートし、おなか

の周りに脂肪のつく内臓脂肪型肥満に加え、糖質異常、高血圧症、高血糖の危険因子を複数あわせ持つメタボリックシンドロームの状態、または予備軍が多くなる中、40歳から70歳までですべての方が対象になるとのことだが、どのように健診計画をしているのか。また、受診の啓発をどのように計画しているのか。

A 高齢化の急速な進展に伴い、疾病全体に占める生活習慣病関連疾患の割合は、医療費の約3分の1となっており、生活習慣病発症の前段階であるメタボリックシンドロームが強く疑われるものと、その予備軍の割合が増加している状況から、生涯にわたる生活の質の維持・向上のためには、生活習慣病の予防に重点を置いた取り組みが重要で、喫緊の課題とされています。特定健診の実施計画は、国民健康保険の被保険者が受診しやすいよう、集団健診、まちぐ

るみ健診に加え、身近な医療機関での個別健診を実施します。また、日曜日にまちぐるみ健診を実施する等、利便性にも配慮します。

受診率確保の啓発については、市広報への掲載及びチラシ等の配布により、新しい制度の啓発に取り組んでいます。また、5月下旬に国民健康保険の被保険者で40歳から75歳までの方及び75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者に健診受診券を送付し、多数の問い合わせが寄せられ、受診申し込みにつながっています。制度創設間もないこともあり、不十分な点が多々あると思えますが、市民からのご意見をいただきながら、必要に応じて見直していきたいと考えています。

指定ごみ袋制実施について

別府 直 議員

Q 指定ごみ袋制導入に当たり、市民に説明会を行い、広報でも周知を図られた。その中でも、指定の金額設定に当たり、処理費用の1割を市民に求められた。その費用が市民の努力で軽減されれば、ごみ袋の金額を下

げるのが筋ではないか。いまはゼロウエストという、ごみを燃やさない、埋めない、つくらないという方向に転換されていると思う。取り締まりや近隣者で監視し合うのではなく、加西市としてどういうスタンスでごみを資源化するなり、市民の考え方を考えていくのかといった部分を考えていただきたい。



A ごみの量が減少すれば、処理経費が軽減され、市民の負担額も軽減されるのが本来ですが、クリーンセンターの構築後13年余りが経過し、老朽化が大変進み、修繕費に多額の費用がかかっている状態です。また、ごみ袋代がすべてクリーンセンターの管理費用に充当されていませんので、直ちにごみ袋代を

下げることはできないと考えていますが、市民のごみ減量の努力に何らかの形で報いられるよう、今後検討したいと考えています。

教育施設整備問題について

後藤千明 議員

Q 市内の教育施設の耐震調査の結果が県内でワースト2ということだが、教育施設の耐震整備を優先的にするのか、学校を統廃合して2重投資を避けようとするのかという難題に直面している状態と思うが、全体整備計画はどうなっているのか。

幼・保・小・中の一貫校の構想は、宇仁小学校の改築とどの

ような関連性があるのか。全体の中で1校と考えるのか、宇仁小を既存の小学区ではなく、このパイロットスクールに変えようとするのか。

幼・保一元化の方向性と進捗状況について、一転二転している九会幼稚園の進捗状況はどうなっているのか。

A 本市の学校設備の整備については、充実した学校教育を実現するために、パイロット的な学校は必要だと考えます。学校は一人ひとりの自己実現、集団との調和等を学ぶ場でもあり、小学校の適正な規模、配置というのを避けて通れないということなのです。耐震化については、耐震補強だけで済む場合、耐震補強に加えて改造をする場合、あるいは改築等が考えられると思います。これを総合的に判断をするということで、整備については国庫補助率のいいときに、一斉一括で進めています。ただし、1校全部の一斉一括ではなく、統廃合の結果とお考えいただきたいと思えます。

宇仁については、より幅広い目標を持ったパイロットスクール等をつくっていくというふう

に考えます。

九会の幼稚園については、加西中学校の隣地を予定していますが、PFI方式での開設を基本と考えています。



企業誘致と労働力の確保と定住促進策について

山下光昭 議員

Q 新聞報道によると、三洋電機のハイブリッド自動車のリチウムイオン電池の生産増強にかかわり、生産地の事業所として加西市も候補の一つであった。進出選定基準として必要な労働力の確保ができることが挙げられており、受け入れる側の行政としてどう受けとめられているか、またそれに対してどう対応するべき用意を持っているのか。

若者の定住促進策で、家賃補助も効果は否定しないが、定住という点では不確定な部分があると思う。市内への新規の転入者を対象として新たに住宅を新築、または購入した場合に、固定資産税相当額を奨励金として交付するもの方法ではないか。

A 企業誘致に関しては、現在はまだ決定といった段階ではありませんが、今後雇用の確保を初め、国、県、市の様々な優遇制度の適用とあわせ、市を挙げて取り組むべき課題と認識しています。また、候補地の選定基準に、労働力の確保が指摘をされており、できる限りの支援、協力を検討したいと考えています。

定住促進に対する提案は若者定住の促進のための有効な手段と考えています。市も若者を対象とした持ち家推奨制度を9月議会に向けて条例案等を検討しているところです。他市町の事例も参考にしながら補助制度の検討を進めたいと考えています。

歳入確保対策と歳出削減について

繁田基 議員

Q 歳入確保対策と歳出削減について、今後の予測はどの

ように考えているのか。財政再建のキーポイントとしては、入りと出を制するのが基本だと思いがどうか。

A 財政再建について、平成19年度までの前期5カ年の取り組みとしては、職員数の削減を初めとした人件費の抑制及び建設事業に係る一般財源額を8億円以下とする等、投資的経費の抑制を重点的に、計画のローリングの中で毎年度改善項目を追加しながら、取り組んできました。その結果、目標を約20億円上回る約48億円の実効果額を見込んでいます。当初計画策定以降、国の三位一体改革や歳出・歳入一体改革により、歳入面では地方交付税が毎年削減され、歳出面では平成24年度のピークまで下水道事業債の償還が増加し、少子高齢化に対応するため扶助費の増加等も考えられます。今後も引き続き厳しい財政状況が続いていくことが予測されます。

後期5カ年計画では、引き続き職員のコスト意識の醸成を図る中で、常に経費の削減に努め、限られた財源の有効活用を図るとともに、質の高いサービスを

低コストで細部に提供できるよう、引き続き市民のご理解ご協力をいただきながら、職員一丸となって持続可能な財政基盤の確立を目指し、さらなる改革改善への取り組みを強化することを基本として実行したいと思えます。

後期高齢者医療制度について

高見忍 議員

Q 後期高齢者医療制度については、高齢者の怒りの声が渦巻き、政治不信にまで発展している。怒りや不信の主な原因は何であるとお考えか。怒りや不信を解消する対策は。

兵庫県広域連合議会では、高齢者の怒り、不信、不満に対する議論がなされないのか。

A 全国的な高齢者の怒りや不信の主な原因は、制度の説明不足と制度創設時における大量の被保険者証の未着や、保険料の徴収などの不手際が目立ったことなど、この数年間の高齢者の福祉施策に対する後退と相まって、大きな不信になったことは事実であると考えますし、75歳で区切って別立ての保険制度にしたことが、また大きな問

題であったと考えています。加西市においては、平成19年度に広報紙及び市ホームページへの掲載、市内の校区老人クラブでの説明会、チラシの全戸配布、被保険者証とともにミニパンフレットを送付する等、制度の周知を図ってきました。今後あらゆる機会をとらえ、各地で開催される会合等に出向くなど、

制度の周知を図っていきたく考えています。被保険者等については、7月15日までにすべての被保険者証を交付し、また保険料の誤徴収はありません。

広域連合は法律に定められて運営しており、制度を否定するような議論はされていませんが、陳情等もあり、問題点があることは認識しており、国に対して将来にわたって高齢者が安心して適切な医療サービスが受けられるよう配慮するとともに、安定的な制度の運営をお願いしたいという意見書は出している状況です。

教育委員会について

丸岡弘満 議員

Q 教育委員会の定例会は、定例会を傍聴したり、教育委員会へ議事録の申請の手続きをす

れば、定例会の内容がわかるが、なぜ月1回の会議の内容がホームページ上等でオープンにできないのか。公開できない理由でもあるのか。公開することにより、広く市民に議論の内容や方向性が見える形となり、情報の公開や共有という観点から大変評価できることであると考えている。

A 学校、教育委員会というところは非常に人間的なテーマを扱うことが多いので、出さないでおきたいという気持ちがありますが、この状況の中でいかなければいけないのは、教育委員会の中にあるであろう、出さないでおきたい、静かにしておきたいという気持ちをまず断ち切ることで、よりよい情報提供に努めるのが、これからの姿勢であり、早速取り組みたいと考えています。

中川市長の道路への考え方

桜井光男 議員

Q 道路整備については、第4次加西市総合計画でも基本構想として交通基盤の整備が明記されている。地域経済の活性化と市民の日常生活の利便性を確保するために、幹線道路の国道、

県道、市道、生活道路、農道まで整備が必要。財政状況も悪いということだが、国、県にお願いし、予算を積極的にとってきてもらい、計画的に事業実施をしてほしい。

A 加西市内の道路は市道も農道も相当整備済みです。この老朽化、修繕工事、維持管理の費用が今後発生するものと思います。立ちおくれが目立っているのは県道、国道であると認識しています。県会議員、国会議員の先生方のお力をお借りして、地元の皆様と力を合わせて要望していきたいと思っております。市道整備は加西市の財政状態を見るとそんな財源はありません。起債をすれば資金調達できるかもしれませんが、市の借金を増やしていくこととなります。政策の優先順位を選択すべき時期になっており、一番おくれけているのは学校関係、地域医療の確保のための財源だと思っています。幹線道路ができれば、都会へ出ていくのに便利になる反面、通過交通ばかり増えていく危険性もあります。地域活性化の面から特色あるまちづくり、ソフトなメニューこそが大事だと思っています。加西の売り物がしっかりあれば、あるいは加西らしい魅力

がしっかりと外に発信できていれば、道路が貧弱でもお客様は訪ねてきてくれると思います。そんなにしても、道路道路と言われるのなら、私が市長をやめてから、あるいは私を失職させていただいて、道路整備されたらどうかと思います。

学校・公園等の遊具の安全管理について

土本昌幸 議員

Q 市内の公園や学校等にはたくさん遊具があり、多くは年数が経てば劣化し、腐食が進んでくる。安全管理について確認する。

公園等の指定管理者との関係について、安全管理に対する責任分担はあるのか。また点検マニュアルを作成しているのか。

学校等の遊具の点検について、点検がなされているのか。

A 公園の遊具の安全管理について、12の都市公園を対象に加西市都市公園の管理運営に関する基本協定書を指定管理者と締結しており、指定管理者の事業計画に基づき、協議の上、保守点検を行っています。通常は週に1回の管理者の巡回による目視の点検、半年に1回の定期点検を

行っています。その他、連休前等の市の担当者による巡視等も随時行っています。指定管理者との責任分担は基本協定書において、管理業務に当たり想定されるリスクの分担について定めています。公園遊具の管理については、市と指定管理者が協定に基づきそれぞれ責任を負うこととなりますが、遊具の安全確保という課題を共有し、互いに連携していく必要があると考えています。

学校に設置している遊具の点検については、通常月1回を予定し、各学校で学校安全の日を設けて点検しています。点検は学校職員が目視及び触診で行っています。異常が発見されたときは、ただちに遊具を使用禁止にし、早急に修理、修繕するという形で対応しています。



公共工事のあり方について

黒田秀一 議員

Q 公共工事は地域産業の活性化のために大きく役立っているのは間違いないと思う。業者のために工事を発注するのではなく、地域のインフラ整備のために工事を確保しなければならない。地元活性化、地元業者の育成のため、一定量の工事を確保し、法に基づく工事発注を徹底していくことは当然として、最低価格の設定の制限を融和することや、一定の水準を確保するために制限価格を引き上げることが重要だと思いがどうか。

A 公共工事は、社会の公共の利益を図るための事業で、公益事業、税金を使って行う社会資本整備といふことになります。地域の発展、活性化のために公共事業を進める必要は十分あると考えています。ただ、最低制限価格の設定基準の緩和や、制限価格の引き上げについては国からの指導基準に基づいた計算で設定していますが、今後入札の状況を見て検討したいと考えています。今後は公共工事の新規工事は絶対量は増える理由がありません。

むしる既存施設の維持管理、補修、修繕という分野の工事が増え、そういう分野に建設業の皆さんの出番があるのではないかと、あるいは加西市においては農業の農地の特定法人による賃貸が可能になりましたので、そういう分野での新たな活躍分野もあるのではないかと考えています。

市内商業に対する景気対策について

井上智章 議員

Q 加西市の商業分野の売上高は平成9年と16年を比較すると31%減少している。近隣他市が9%〜20%減少という状況と比べてもその激しい衰退ぶりがかがえる。市ではこの景気状況をどのようにとらえているのか。マクロ的な経済活性化政策は、行政の責務ではないか。例えば少数私募債や調整区域の規制緩和といった具体策を求め

A 加西市のご数年の状況は、産業全体では事業所数は減少、従業者数は増加の傾向で推移し、工業は出荷額が増加する一方、商業の販売額は大きく減少している状況です。工業にお

いては大規模事業所が増え、出荷額は増えている一方、商業においては家族経営的な小売店等では事業所数の減少に加え、市外への消費の流出が原因と認識しています。

地域産業の育成については、従来より加西商工会議所並びに商店連合会と連携し、ポイントカード事業や商品券事業等を行い、市内商業の活性化に努めてきました。また、昨年度より県のまちなか商業活性化事業を商工会議所等が利用されることにあわせて、市も随伴の補助を行っています。この事業では、売り上げ、利益アップ戦略の基本を研究、企業のポリシーと店舗のコンセプトを武器にしたストーリー性の売り込み、地域密着型商法の理解と1店1品、1品1サービスの強化方法と進め方に取り組み、魅力ある店舗づくりの研究会を開催し、現状の打開に努められています。今後も前向きな個店の取り組み、支援については商工会議所と連携しながら、行政としても継続して行いたいと考えています。

下水道料金引き上げ、ゴミ有料化と軽減策について

井上芳弘 議員

Q 下水道料金は、上水道の5%引き下げと同時に30%引き上げが行われた。少子化対策等で若い人たちが負担感を持たないように、軽減策が必要ではないかということも提案してきたが、検討はされているのか。

また、ごみの問題でわずかな年金で生活されるお年寄りにとれば、10枚500円という支出でも非常に重い負担。こういったものに対する、低所得の方への策はないのか。

A 下水道料金の改正及びごみの有料化に伴い、生活弱者、子育て世帯の負担軽減を検討してまいりました。

下水道料金については、生活保護世帯に加え、新たに就学前の子どものいる母子家庭、3歳未満の第3子以上の子どもがいる世帯の基本料金を全額免除することとしています。上水道については、生活保護世帯に加え、就学前の子どものいる母子家庭の基本料金を全額免除することにしており、上下水道の料金と

も7月請求分から適用します。

ごみ袋の有料化に伴う軽減については、新生児がいる世帯及びおむつを使用している高齢者、障害者がいる世帯に加え、新たに生活保護世帯と母子家庭を対象としました。年間の配付枚数は、45リットル袋を新生児がいる世帯に50枚、生活保護、母子家庭、おむつを使用している高齢者には70枚を予定しています。

低所得の高齢者の減免についても庁内で数回協議しましたが、上下水道料金の減免については、一般会計から企業会計へ相当額を繰り出すことになり、現在の財政状況を見きわめると、低所得の高齢者への減免は適用できないという結果になりました。

文化公園整備事業計画について

小谷安富 議員

Q 玉丘古墳を中心に、美術館、郷土資料館、音楽ホール、図書館等を整備する計画であったはずがとまっているのか。どれだけの借金が残っているのか。また、投資額はどのくらいか。現在の試算評価額は幾らぐらいか。今後はどのように利用するのか。前議員と行政の判断は間違っ

いなかったのか。

A 当初、美術館、資料館等の施設も合わせて継続的に考えられてきましたが、玉丘古墳等整備報告書の中では、そのあたりが消えてしまっているようです。歴史資料館については、教育委員会の理解としては計画がほごになったということではなく、財政的な理由で凍結されているという考え方です。投資額は24億円、起債額20億円、現在の起債残額5億5100万円です。評価額、土地8億9000万円、建物9,000万円、合わせて9億8,000万円です。前議員や行政の判断については、前の人がどうであるかを問うことは、政治的な後づけとしては、意味がないとは思いませんが、現在加西のシンボルとしては玉丘史跡公園、フラーセンターや、一乗寺を初めとする神社といった立派なものを持っていきます。加えて工場や商店、農業的な景観、いまよりも住宅が増えるというふうなことになるれば加西のあり方ももう少し前向きな考え方が出てくるのではないかと思っており、これをいい材料として生かし、

歴史、文化をどうつないでいくかということを手前前大学、神戸大学等とつながりながら進めているところです。



中川市長に対する刑事告発について

西川正一 議員

Q 6月議会が開く前に、中川市長に対する刑事告発が不起訴になった。刑事告発、不信をされた方は、市民に陳謝し、いろいろと市民に訴えるべきであると思う。市長の見解はどうか。

A いまもって大変悔しい思いをしています。試験委員会の決定を市長がなぜどのように見直したか、それまでのやり方のどこに問題があったか等について、市長にしっかりと市民の

前で説明させていけば、あれほどの大騒ぎになっていなかったと思います。むしろ、不正だ、違法だと騒ぎ立て、市長を失職させたかったがために、百条委員会も十分な審議をせず、性急に結論を出されたのではないかと思います。まことに遺憾なことです。その後、統一地方選挙、市議会選挙を控えた時期に、用意周到に下準備されて告発されたのは、ある面、見事な筋書きだと思えます。筋書きを描かれた方に敬意を表したいと思えます。3年間の経験から言えることは、悪意、脱法の違法行為は市内の至るところに見受けられます。その都度、庁内はもとより関係者に対して法令遵守、コンプライアンスに徹底するよう指示し、再発防止策を講じてきたところです。これらの違法行為を見過ごし、放置しておきながら、私の採用問題で見直しを図ったことを針小棒大に違法と扱われたのは、まことに心外です。関係職員の処分も含めて対応していきたいと思えます。

第220回 加西市定例会議決結果一覧

平成20年6月2日(月)～平成20年6月20日(金)

議案番号	件名	議決結果
議案第38号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意
議案第39号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意
報告第6号	専決処分したものにつき承認を求めることについて(加西市税条例の一部改正)	原案承認
報告第7号	専決処分したものにつき承認を求めることについて(加西市国民健康保険税条例の一部改正)	原案承認
報告第8号	専決処分したものにつき承認を求めることについて(平成20年度加西市一般会計補正予算(第1号))	原案承認
報告第9号	専決処分したものにつき承認を求めることについて(平成20年度加西市老人保健医療特別会計補正予算(第1号))	原案承認
議案第40号	加西市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第41号	加西市ふるさと寄付条例の制定について	原案可決
議案第42号	平成20年度加西市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
請願第1号	自主共済制度の保険業法適用見直しを求めることについて	原案採択
意見書案第2号	自主共済制度の保険業法適用見直しを求める意見書(案)について	原案可決
決議案第7号	繁田基行財政改革特別委員長及び農業委員会委員に対する辞任を求める決議(案)について	原案否決
決議案第8号	土本昌幸建設経済委員長の辞任を求める決議(案)について	原案否決
決議案第9号	森田議長の職権乱用(発言の自由)行使に抗議する決議(案)について	原案否決

加西市出身で現在、全国各地でご活躍されている方に「ふるさと加西」への想いを綴って頂くコーナーを企画しました。そこで今回は第1回目として阪神百貨店社長・会長を歴任され、現在は㈱サエグサ流通研究所代表取締役、また大阪加西会の会長・加西市政策顧問も務められている三枝輝行さんをお願いしました。

故郷への想い

故郷である加西市を離れて、50年が過ぎようとしています。しかし私の場合は実家が加西にあるために、年に数回は帰っていますのでそんなに遠い存在でもありません。

幼少期から高校時代までの人間形成にとって一番大切な時期を加西の素晴らしい自然に恵まれた環境の中で過ごせたのは、その後の社会生活においてどれだけ役に立ったか測り知れません。

友人、隣人との交わりの中で、自然に人間として大切な事柄を教わってきたように思いますし、街中を歩いても、そこには人の生活の賑わいがあったように思うし、互いに助け合う人々の優しさが溢れていました。

さて、現在はどうでしょう。色んな意味で便利になり街中も整理されたかも知れませんが、地方都市特有の同質化が進み、特色のない、潤いのない、生活感の無い町に変質したように感じます。時代の流れで仕方ないのかもしれないが道路と箱ものは立派になるが、人が楽しんで歩ける場所は何処にもない街になっています。

何故にこんな魅力のない町に変わったのかは分からないが、恐らく加西と言う町を、どんな町に造り上げていくかの、ビジョンやポリシーが無かったのではないかと思います。

町は誰のために存在するかを考えれば答えは直ぐに出ると思う。町はそこに生活をする住民が豊かに楽しく過ごすことができるものでなくてはならないし、互助精神が溢れたものでなければならない。

大都市と同様の便利さだけを追い求めていた時代から、今や如何に人間らしく生きていくかが求められている時代が変わっています。加西は素晴らしい自然と環境にめぐまれ、しかも大都市圏からも近いという最高の立地である、同時に温暖な気候に恵まれ農産物の生育にも適しているにも関わらず放置農地が多数見受けられます。今や農業に対する見方は変化し、都市の住民や若者の農業従事者を取り込む時期になっていると考えます。

また、加西も高齢化が進み、医療の充実が急務だと考えますが徹底した医療改革と予算の配分で安心で安全な医療現場の確立により住民が加西に住んでよかったと思えるようにしなければなりません。市の中心部は賑わいのある場所に変えるために住民と市が一体になって考え、実行しなければならない、楽しくない場所には人は決して行かない。

近頃、加西市は中川市長の新しい取り組みが話題になり、日本中で加西の名前が知られるようになりました。今まで加西の名前など聞いたこともなかったが嬉しい限りです。しかし市長一人では加西市の真の活性化は出来ない。市民全員が自分の住む加西市を自慢できる町に変貌させるために力を合わせなければならない時期にきていると思います。

三 枝 輝 行

一度ご覧になりませんか。みなさんの代表の質問を!

■平成20年(9月)加西市議会定例会の日程

月 日	曜 日	時 間	会 議
9月1日	月曜日	10:00	本 会 議
9月3日	水曜日	17:00	発言通告期限
9月8日	月曜日	10:00	本 会 議 (質疑・一般質問)
9月9日	火曜日	10:00	本 会 議 (質疑・一般質問)
9月10日	水曜日	10:00	本 会 議 (予備日)
9月12日	金曜日	10:00	建設経済委員会
9月16日	火曜日	10:00	厚生委員会
9月17日	水曜日	10:00	総務委員会
9月22日	月曜日	10:00	本 会 議 (最終日、委員長報告・採決)


※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎42-8790)でご確認ください。本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。

※質疑・一般質問の内容や発言順序は、9月3日(水)に加西市議会のHPに掲載予定です。

■本議会インターネット中継をご利用下さい

インターネットによる議会中継を加西市および加西市議会のホームページからご覧いただけます。傍聴に来ることができない方でも、インターネットにより本会議開催日には生中継で本会議の様子を見ることができるほか、約3日後(土・日・祝日)を挟む場合はさらに数日かかる場合があります)には録画放送も見るすることができます。

ようこそ
市議会ホームページへ

加西市議会 検索 

加西市議会のホームページ

では、本会議・委員会の日程をはじめ、質疑・一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。ぜひ一度ホームページをごらんになって関心のある本会議や委員会を傍聴してみてください。

あなたのご意見をお寄せください

市議会だよりは、皆様と市議会をつなぐ【パイプ役】として常に『正確でわかりやすい』をモットーに編集しています。この市議会だよりをよりよいものとしていくため、皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。